



はぐ便り

2018年
10月号
【第59号】

澄みわたる青空、黄金色の稲穂、だいたい色の柿の実、銀色に輝くトンボの群れ、中津川に遡上する鮭の群れ……。10月は、生きとし生けるものが最後の輝きを放ち「命の尊さ」を伝えてくれる季節のように思います。今月は「命の尊さ」について、お子さんの心に響く伝え方を考えてみましょう。

命をい本感させよう♡

例えば、お子さんに自分や家族の心音や脈拍、呼吸数を確かめさせてみましょう。指で感じた拍を声に出してみるのも楽しいですね。お子さんは「生きていること」を実感し、体が「生命」を維持するために休まず動いていることに驚き、感謝の気持ちや大切にしようとする気持ちを持つことでしょう。

このようなお話を、ご家庭の環境や状況に応じて伝えることにより、お子さんの心には驚きと感動が生まれ、大きく深い愛情を感じることでしょ。お子さんの胎児エコー写真や誕生当時のアルバムを見せながら伝えることで、さらに感動が高まるかもしれません。

お子さんの

誕生の様子を伝えてみよう♡

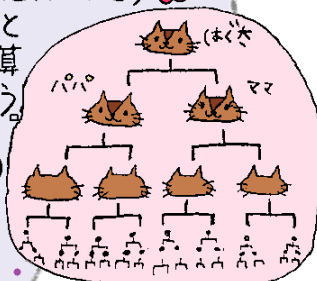
出産までの親(家族)の期待や苦勞、思いを伝えることは特に効果的なようです。例えば……

- ☺ へその緒がつながっていて、母親の体から栄養をもらっていたこと
- ☺ 優しく心豊かな子どもに育つことを願い、お腹の赤ちゃんに音楽を聞かせたり、絵本を読んだりしたこと
- ☺ 誕生のために、お母さんとお腹の赤ちゃんが一緒に頑張ってきたこと
- ☺ 生まれたときの様子
- ☺ 誕生と同時に母と子をつないでいたへその緒が切れ、一人の人間になったこと
- ☺ 生まれるまでの家族の期待感や誕生の際の喜び
- ☺ 「命名」の意味や名前に込めた願いを伝えること

小・中学生であれば、自分の命がずっと続いている「命」であることも伝えたいことです。

例えば、祖先の数を想像させてみましょう。25歳で親になると仮定すると10代前(約250年前)の祖先は1024人となり、20代前では100万人を越す計算になります。自分の命がその一人ひとりから受け継いでいることに驚くことでしょ。

中学生には、「命」に関係する漢字(寿命・命日・命名・運命・使命など)について調べさせると、興味や関心が高まるようです。そして「寿命」が自分が亡くなる日(命日)までに与えられた「夢や希望を叶えることができる貴重な時間」であることに気づかせましょう。そのことをきっかけに、自分の可能性にチャレンジする意欲が高まり、毎日充実した生活を送るようになるかもしれません。



さて、「人間の命」は、心と矢口と体が歯車のようにバランス良く組み合っているのではないかと考えます。一つでも傷ついたら、次々とバランスを崩し、命のパワーが弱くなってしまうのです。誰かの心を傷つけることは、祖先からつながっている「尊い命」を傷つける悲しい行為であることに気づかせたいものです。これは「いじめ予防」にもつながることです。

お子さんに「命の尊さ」を伝えることは、驚きと感動の中で、心に響くものと考えます。そして、それはご家庭で行うからこそ、大きな意味があるのだと思います。お子さんの心に響く「命のお話」を毎日少しずつ話題にしてみてもいいでしょうか？



家庭教育・読み聞かせボランティア研修会を開催しました

9月28日(金)に、はく便り57号でお知らせしていました、家庭教育・読み聞かせボランティア研修会「**絵本の時間だよ! Let's Share BOOKS!**」を、都南公民館を会場に開催しましたので、その様子を紹介します。

今回の研修会講師は、さわや書店本店で児童書を担当している佐藤亜美さん。研修会当日はたくさんの絵本を持って、会場入りしていただきました。講話「**本屋さんで学ぶ絵本選びのポイント**」では、発達に合わせた絵本の選び方や各絵本の特徴などについて、読み聞かせを交えながら、たくさんの絵本とともにご紹介いただきました。

ふとした時に思い出す本が、お話がある。
どこで再会しても、表紙を見ただけでストーリーが自分の中で流れ出す。
感じたことを思い出せる。
そういうものがたくさんあれば、多いほど、生きていく強さになる。



講師の佐藤亜美さん

読み聞かせはおもてなしの心と同じ。本相手のことを知る。発達のことや子どもの好きなものや子どもの姿を理解しようとして絵本を選びますよね。練習したり環境づくりをして子どもを迎える。そこが子どもにとって安心できる場所になる。

後半のおはなし会「子どもの心にプレゼント🎁」での読み聞かせ体験では、参加した皆さんが佐藤亜美さんのお話に聞き入り、子どもも夢中になったり、ニコニコしたり、たくさんの表情をみせてくれました😊
私もKは、絵本の世界に入り込み、研修会ということをお忘れしまいそうになるくらい、とても心地良い時間を過ごすことができました。



会場には、皆さんが絵本を気軽に手に取ることができるよう、絵本コーナーを設置しました📖 皆さん、見入っていましたね✨

子どもの喜ぶ姿というのは親の心の安定、満足、しあわせ。小さなことでも子どもを笑顔にするネタを持っていると、子育ての自信につながる。



研修会終了後に実施したアンケートには、「知らない良い本にたくさん出会えました。」「絵本といっても、いろいろなものがあるって、その絵本によって伝えたいものがあるんだなと感じました。」「とても優しい声で、子どもも落ち着いて参加することができました。」「もっと聞いていたかった!」などの満足する声がたくさん寄せられました。参加したことがない方も次回ぜひ参加してみてください!

